



国税庁 長官官房 企画課 課長補佐
池田 麻実 平成26年入庁

職場も家庭も、チームワークが命!

私は、企画課の課長補佐として、税制改正を実際の制度に落とし込む業務や会議の取りまとめ、外国の税務行政についてのリサーチ、国際会議への出席等を行っています。

そして、自宅に帰れば、2人の子どもの母でもあります。

業務を回して、家庭を回して、できれば自己研鑽にも励んで…というのは、言うは易く、行うは難し。時短・在宅勤務・フレックス、今ある選択肢を活用し、制約の中でサバイブする。それでも、私一人の力では何も成しえないことを、子どもを産んでから一層痛感しました。だからこそ、私は職場において、一緒に働く仲間・上司とのコミュニケーションと信頼関係の構築を最重視しています。困った! どうする? いいね! …そんな気の置けない声を掛け合え、助け合える(主に助けてもらっていますが…)メンバーに恵まれた今、とっても充実した日々を過ごしています。もちろん葛藤も常に抱きしめて…今日もお迎えのバス停に走ります!

1日のスケジュール(出勤×フレックス編)

- 5:00 ● 起床、子どものお弁当作り/荷物準備
- 6:15 ● 出発(子どもの送り出しは夫の担当)
- 7:45 ● 業務開始
- 16:00 ● 退庁
- 17:10 ● お迎え①バス停
- 17:20 ● お迎え②学童
- 17:45 ● 帰宅、子どもの宿題をみながら夕食づくり、入浴、洗濯等家事全般
- 22:00 ● あとは、これから帰宅するであろう、夫にバス! 子どもと就寝...



国税庁 課税部 課税総括課 課長補佐
近藤 佳奈恵 平成24年入庁

自分仕様の働き方で

私は今、2人の娘を育てながら課税総括課で勤務しています。日中は適正公平課税の実現に向けて租税回避に立ち向かうべく対策を練る一方(これはとても面白い仕事なので、詳細は私の上司のページ(p22)をご覧ください!!)、夕方からは育児に向き合う日々。両立は大変そうに思われるかもしれませんが、自分の生活を大事にしながら刺激的で重要な業務に携われる、とても贅沢な毎日です。

母親になって9年。環境や制度が整い、性別に関わらず育児する人が増えて、職場も進化しました。色んな人が色んなやり方で働いているので、おのずと自分の選択肢も増え、年々働き方が自分仕様にブラッシュアップされました。おかげでこの9年、育児に時間を割きながらも、他省庁出向や子連れ地方赴任(税務署長)など色々なチャレンジを諦めずこられました。

やりがいもWLBも妥協したくない人に、国税庁はおすすめの職場です。訪問をぜひお待ちしております。

1日のスケジュール

- 6:00 ● 起床・家事など
- 6:45 ● 子ども起床・朝食
- 7:30 ● 出勤・長女登校(その後、次女は夫と登園)
- 8:30 ● 登庁
- 17:00 ● 退庁
- 18:00 ● 保育園迎え・帰宅
- 18:30 ● お風呂・夕食
- 20:30 ● 長女の宿題をチェックしたり、遊んだり
- 21:30 ● 次女の寝かしつけ、寝落ちor自分時間



国税庁 長官官房 会計課 課長補佐(総括)
沖本 亜弥 平成18年入庁

ライフステージの変化に寄り添う職場

ワークライフバランスに正解はなく、私自身、親になって11年たちますが、いまだに手探り状態です。子どもが小さい頃はライフを優先していましたが、今は子どもが成長し、あらためてワークに力を入れたい気持ちが強くなっています。また、仕事で充実している姿を見せることも子どもにとっても良い刺激になるのではないかと、思っています。日々の生活では、週1回のテレワークと週1回の早帰りの日は夕食づくり担当をしています。(他の日は夫が担当)また、最近では、子どもが夕飯(うどんが得意料理)を用意してくれることも!

国税庁には本庁から税務署まで多様な業務・職場があり、ライフステージや価値観にあわせて働き方を調整できるのが魅力です。仕事も生活も、どちらも大切にできる環境がここにはあります。

1日のスケジュール(テレワークの日)

- 7:15 ● 起床、子どもに登校準備等の声掛け
- 8:00 ● 洗濯・掃除などの家事
- 9:00 ● 英語学習
- 9:30 ● 業務開始
- 18:00 ● 業務終了・夕食準備開始
- 19:00 ● 夕食
- 20:00 ● 子どもと遊ぶ・宿題チェック・歯の仕上げ磨き等
- 21:00 ● 子ども就寝後→自由時間



デジタル庁 戦略組織グループ 参事官補佐
後藤 大輔 平成30年入庁

感謝の心を忘れずに

令和6年に長男が誕生し、約1か月の育休を取得しました。育児「休業」であり「休暇」ではない、というのは文字通りで、この期間で父親の新人として、最低限必要な知識等を身に付ける必要がありつつ、家事・育児も山ほどあり、「暇」とはほど遠いものでした。

ただ、どれだけ大変でも子どもの顔を見ると疲れが癒されますし、それは業務復帰した今でも変わりません。また、たった1か月でも妻と一緒に子どもと向き合い、些細な子どもの変化に喜びながら、今後の生活等について話し合えたのは非常に貴重な時間でした。

仕事と家庭を両立するには、夫婦がお互いの大変さを理解し、感謝の心を忘れず生活するのが最重要だと思います。今多少なりそれができているとすれば(抗議の音が聞こえてきそうですが)、育休の期間、しっかり家族と向き合えたことが基礎になっていると思います。

1日のスケジュール(午前テレワーク)

- 6:00 ● 起床
- 8:00 ● ~前日残った家事など
- 8:30 ● 子どもと一緒に朝食
- 9:30 ● 業務開始
- 12:00 ● ~テレワーク
- 13:00 ● (簡単に昼食を済ませつつ)出勤
- 19:00 ● ~庁で打ち合わせ、資料作成など
- 20:00 ● 帰宅、子どものお風呂
- 21:00 ● ~夕食など(趣味の時間も)
- 23:00 ● 就寝